

道づくりだより

第 51 号

2012.5 島根県道づくり調整会議



祝 大津中央一の谷線 全線開通！

Contents



1. 松江だんだん道路(西尾 IC~松江 JCT 間)の開通後の交通状況(速報 2) 利用者の声 (道路建設課)
2. 一般県道 広瀬荒島線 歩道整備事業について (道路建設課)
3. 直轄事業の事業計画発表！ (高速道路推進課)
4. 「ハートフルしまね」の紹介 (道路維持課)
5. 都市計画道路「大津中央一の谷線」の全線開通について (出雲市まちづくり推進課)
6. 林道を通って行きましょう！(隠岐・島後編) (隠岐支庁 県土整備局)

松江だんだん道路（西尾IC～松江JCT間）の 開通後の交通状況（速報2） 利用者の声

松江だんだん道路（西尾IC～松江JCT間）の開通から2ヶ月経ち、地域の方・利用者の方から、次のような感想をいただきました。

地域の 声

- 松江だんだん道路を利用してから通勤時間が10分～15分短縮した。
- くにびき道路の渋滞が減って、通勤がしやすくなった。
- バスの運行がスムーズになり、運行の遅れも少なくなった。
- 橋南方面からの自転車通学がしやすくなった。
- 自家用車による送迎が不要になった。



松江だんだん道路 自転車歩行者道路の状況



くにびき大橋の状況

開通前



渋滞長の減少
待ち時間の減少

開通後



撮影：平成24年4月27日8時

今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

一般県道 広瀬荒島線 歩道整備事業について

安来市田頼町のこの箇所は、歩道幅が1m程度と狭く、安来市立第三中学校等へ自転車通学する生徒は、多くの車両が通行する中、車道を走るしかなく、いつ事故がおこるともわからない危険な状況でした。



【事業概要】

- ・施工箇所：安来市田頼町
- ・延長：L=200m
- ・事業着手：平成23年度
- ・自動車交通量：5,499台/日
- ・自転車交通量（12h）：27人
- ・歩行者交通量（12h）：4人

【横断図】

青線：整備前
赤線：整備後

このたびの歩道整備事業により、狭かった歩道は、3.5m幅の自転車歩行者道へと生まれ変わり、今では毎日安全に通行する生徒さんを見かけることができます。

全国では通勤通学時の事故が多発しております。今回の事業完了で少しでもご家族や学校関係者の皆様の心配や気苦労が解消されれば幸いです。

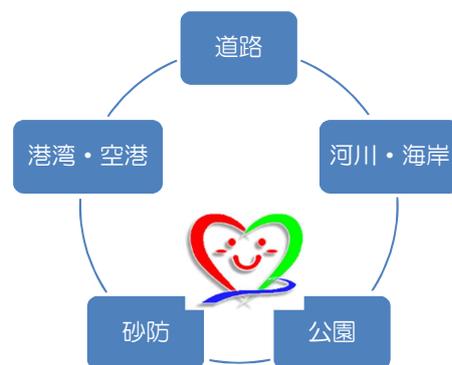
今後もより安全な道路環境を創出するため、交通安全事業に鋭意取り組んでいきたいと思っております。



「ハートフルしまね」の紹介

○「ハートフルしまね」とは

島根県では、平成21年度から「ハートフルしまね(島根県公共土木施設愛護ボランティア制度)」というボランティア団体の支援制度を設け、島根県が管理する道路・河川・海岸・公園・砂防施設・港湾・空港施設におけるボランティア活動を支援しています。



○「ハートフルロードしまね」について

このうち、島根県が管理する道路においては、以前から「ハートフルロードしまね」としてボランティア団体を支援しています。道路の草刈・美化活動をされる団体を、島根県が「愛護団体」として認定し、看板の設置・交付金の交付・保険への加入をします。平成24年3月現在、615団体が「ハートフルロードしまね」の愛護団体に認定されています。

○活動に必要な経費が支給されます

美化活動については、ゴミ袋、軍手、苗、種、肥料など(上限10,000円まで)にかかる経費を、交付金として交付しています。

草刈活動については、年間100㎡当たり1,500円に面積と回数(上限2回)を乗じた額を上限として活動にかかる経費を交付しています。



○保険に加入しているので万一の事故の時にも安心です

ハートフルロードしまねの活動については、活動をされる団体の構成員の皆さんを対象に、傷害保険・賠償責任保険に加入しています。活動中に自分がけがをした時や、誰かにけがを負わせてしまった時などに保険の対象となります。

◎詳しくは、最寄りの県土整備事務所、または島根県土木部道路維持課までお問い合わせください。

◎島根県HPで団体の紹介をしています。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/heartful.html>

都市計画道路「大津中央一の谷線」の全線開通について

本路線は、生活道路や通学路としての利用だけでなく、市街地の混雑解消のため国道9号と斐川南地区広域農道や県道出雲三刀屋線を結ぶアクセス道路としての側面も持っており、昭和49年に都市計画決定を行い、昭和58年から事業着手し整備を進めてきました。

このたび完成した2工区については、平成17年に事業認可を受け、約7年をかけて整備し、平成24年4月17日には全線開通の開通記念渡り初め式が挙行されました。

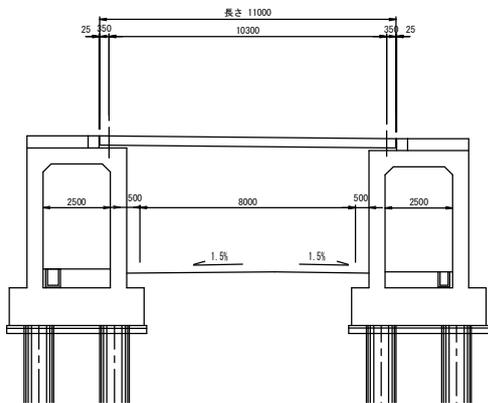
全線が開通したことにより、近年オープンした出雲弥生の森博物館や西谷墳墓群史跡公園へのアクセス道路としても期待されています。

【全体の概要】

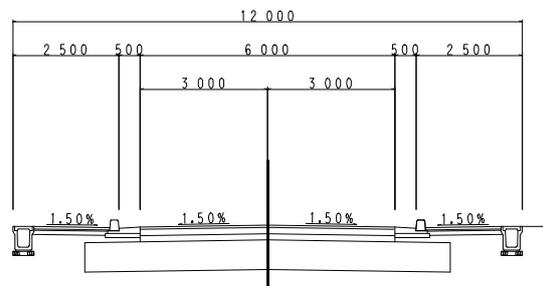
延長	L=1,480m
幅員	車道 W=7m、歩道 W=2.5m~3.5m
主要構造物	山廻架道橋 L=8.5m
事業費	2,880百万円



標準断面図



架道橋部



一般部

整備前



整備後



【渡り初め式の様子】



林道を通って行きましょう！（隠岐・島後編）

今回は、隠岐・島後地域の観光スポットへのアクセスでも利用される林道2路線を紹介します。

大満寺山から鷲ヶ峰、葛尾山と連なる山々「隠岐自然回帰の森」は、ハイキングコースや展望台などが整備され、自然観察や森林浴が楽しめます。現在隠岐諸島が目指す世界ジオパーク登録が実現すれば、林道利用者の増加が期待されます。



● 林道 中谷線

- 延 長：534m
- 幅 員：4.0m
- 開 設：昭和52年度完成
- 場 所：隠岐郡隠岐の島町原田本谷
- 管理主体：隠岐の島町

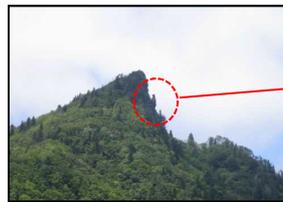
鷲ヶ峰（屏風岩）

鷲ヶ峰の山頂は、屏風岩と呼ばれる約80mの岩山になっています。これは火山噴火で作られた岩石（流紋岩の火砕岩）が冷え固まった時にできたヒビ割れが、屏風に見える岩壁を作っています。両林道をつなぐハイキングコースを登っていくと見ることができます。



トカゲ岩

中谷林道の突き当たりにある駐車場から少しのぼった所にある展望台からは、鷲ヶ峰付近の80mの断崖をよじ上る全長約26mの大トカゲの形の岩が見られます。北海道の「風船岩」（昭和48年に折れて海没）、岡山県の「象岩」と共に日本三奇岩とも呼ばれていました。この岩は約500万年前に地下から上がってきたマグマが地表近くで冷え固まり、浸食によって地表に現れ、割れてできたものです。



● 林道 南谷線

- 延 長：11,754m
- 幅 員：4.0m
- 開 設：昭和51年度完成
- 場 所：隠岐郡隠岐の島町原田佛谷
- 管理主体：隠岐の島町



岩倉の乳房杉（ちちすぎ）

南谷林道は島後最高峰の大満寺山（だいまんじさん、標高608m）の近くを走っています。林道最高点から東に下った道路脇の鳥居の奥に、推定樹齢約800年の神秘的な形の老杉が立っています。島後三大杉の一本で、その常識を覆す形から「日本で一番存在感のある杉」という評価もされているほか、社の無い神社「岩倉神社」の中心にもなっています。ここは霧が多く、周囲には湿気を好む草木が茂っています。斜面を覆う岩のガレキのすき間を通る冷たい空気がこの環境を作っていると考えられています。



世界、そして未来に向けて。～大陸から島々へ～

人の営み

独自の生態系

大地の成り立ち



「ジオパーク」とはユネスコが支援するプログラムです。科学的に見て重要な、あるいは美しい地質遺産を有する自然公園を指し、隠岐諸島は2009年に「日本ジオパーク」に認定され、現在は2012年の「世界ジオパーク」の登録を目指しています。